

子ども食堂ネットワークと連携した清掃ワックス事業のご提案

— 企業の価値を高める、地域との新しいつながり —

● Step1：私たちは何のためにこの事業を行っているのか？

私たちは、「床を磨く」ことを通して、ただ施設をきれいにするだけではなく、**地域の未来を支える活動**につなげていきたいと考えています。その取り組みの一つが、「子ども食堂ネットワーク」と連携した**床清掃・ワックス事業**です。

この事業では清掃収益の全てを、地域の子ども食堂ネットワークを通じて、こどもたちの**孤食防止や居場所づくり、様々な環境の家庭支援**などに活用しています。

この取り組みは、以下のような思いから始まりました。

- 清掃という“裏方の仕事”に、もっと**誇りと意味**を持たせたい。
- 子どもたちの未来を、地域全体で支える**仕組み**をつくりたい。
- 地域企業が協力し合うことで、**持続可能な共助モデル**を広げたい。

「清掃という日常業務を、地域貢献につなげられる」

そんな仕組みを一緒に育ててくださる企業様を、私たちは探しています。

● Step2：私たちが大切にしている社会的な視点とは？

地域課題は、もはや一部の人のものではありません。

こどもの貧困、孤食、保護者の孤立、学びの機会格差、居場所不足…

こうした問題は、地域経済、雇用、教育、福祉、治安、安全など、

まち全体の未来に直結する課題です。

特に子ども食堂のような地域福祉活動は、その重要性が広がっている一方で、**継続的な資金と支援が不足**しているのが現状です。

このような状況の中で、**企業の CSR 活動**が大きな意味を持ち始めています。そこで、私たちは問いかけます。

「貴社は地域とのつながりを、どのように捉えていますか？」

「社会的責任を、単なる義務ではなく、未来をつくる力として活かさないでしょうか？」

「いま行っている事業に、“もうひとつの価値”を加えることに、興味はありませんか？」

CSR とは、ただ「やらなければならない活動」ではありません。

地域と共にある企業であることを、誠実に、誇りを持って示す営みだと考えます。

この清掃支援モデルは、御社の事業活動の中に、

自然なかたちで「社会的価値」を組み込むことができる仕組みです。

● Step3：ステークホルダーとの関わり方をどう捉えていますか？

企業は、商品やサービスの提供だけでなく、多くの「関係性」の中で存在しています。

社員やお客様、地域住民、取引先、行政機関、そして未来の社会——

そのすべてが企業の“ステークホルダー（利害関係者）”です。

CSR とは、「責任を果たすこと」に加え、「信頼と共感を育てていく営み」でもあります。

私たちが地域貢献に取り組むことによって、実はさまざまなステークホルダーに好影響が広がっていきます。

◆ 株主にとってのメリット

- 長期的な企業価値の向上に貢献します。
- 企業の社会的評価が高まることで、持続的なブランド価値の形成につながります。
- SDGs や ESG 投資の潮流に合致し、社会的リスクを回避する企業として認識されます。

◆ 従業員にとってのメリット

- 「社会に役立つ仕事をしている」という実感が、**働きがい（エンゲージメント）**を高めます。
- 企業の理念と実践が一致することで、帰属意識や誇りが育まれます。
- 働く社員自身もまた、地域で子育てをしている保護者である可能性があります。
そうした社員にとって、子ども食堂の支援に関わることは、自分自身や家族の暮らしを支える実感にもつながります。
- 採用活動においても、社会貢献に取り組む企業は若い人材からの評価が高まる傾向にあります。

◆ 顧客にとってのメリット

- 「この企業から買いたい」「応援したい」という共感と信頼のきっかけになります。
- 商品やサービスを通じて、間接的に社会貢献できる喜びを提供できます。
- 企業活動そのものが「物語」として顧客の記憶に残ります。

たとえば、店舗の床が美しく保たれているその背景に、子ども食堂への支援がある——そんな取り組みは、企業の姿勢として心に残りやすく、購入や来店という行動につながるきっかけにもなります。

顧客は「モノを買う」のではなく、「想いを応援する」という行動を選ぶ時代になりつつあります。

◆ 取引先にとってのメリット

- 価値観を共有できるパートナーとして、より強固な関係性が築けます。
- 社会的評価の高い企業との連携は、取引先自身の CSR 強化にも貢献します。
- 「地域貢献型サプライチェーン」として、業界内でも差別化された存在になります。

◆ 地域社会にとってのメリット

- 子どもたちや家庭、高齢者など、支援が届きにくい層への支えとなります。
- 地域に貢献する企業が増えることで、安心・信頼できるまちづくりにつながります。
- 企業と市民の距離が縮まり、協力や連携の可能性が広がります。
- さらに、こうした地域貢献型の取り組みを行うことで、同業他社との差別化が地域の中でより明確になります。

「ただの業者」ではなく「地域を支える企業」として認識されることは、企業の信頼性・認知度の向上にも直結します。

◆ 行政にとってのメリット

- 公的支援だけではカバーしきれない課題に、企業の協力で現場に届く支援が実現できます。
- CSR に積極的な企業は、地域振興施策や協働事業の有力なパートナーとなります。
- 持続可能な地域運営の実現に向けて、共創型社会の担い手として評価されます。

一つの行動が、六方向に波紋のように広がる。

それが、企業が地域と関わることの本当の価値だと、私たちは考えています。

子どもたちの笑顔が、地域を明るくする。

静岡市子ども食堂ネットワークは、地域と企業が手を取り合い、子どもたちに安心と未来を届ける活動を展開しています。現在、市内 15 か所で子ども食堂を運営し、多くの子どもたちとその親御さんたちに、食と居場所の支援を行っています。

子どもたちの“もうひとつの食卓”を地域で

子どもがひとりで食事をする「孤食」や、経済的な困難を抱える家庭が静岡市内にも確かに存在します。私たちは、そんな子どもたちに安心して過ごせる居場所と温かな食事を届けたいという思いから、2017 年より「静岡市子ども食堂ネットワーク」の活動をスタートしました。

活動開始から 7 年。現在では市内 15 か所にまで拡大し、日々多くの子どもたちとその親御さんに「助かる」「安心できる」と喜ばれています。子どもたちにとって、食堂はただの食事場所ではなく、地域に守られているという実感を得られる“もうひとつの家庭”になっています。

地域から高まる評価と期待

この活動は、地域住民・学校・行政からも高い評価を受けています。「子ども食堂があることで地域に安心感が生まれる」「孤立を防ぎ、子育ての支えとなる」との声が多く、静岡市内における地域福祉・子育て支援の重要な拠点となっています。

しかし、こうした活動は、地域の企業や団体の支援によって支えられているのが現実です。私たちの取り組みは、善意だけでは継続できません。今、さらに多くの協力が求められています。

この取り組みを支えているのは、**地域の企業や団体の皆さまの温かいご協力**です。

食材や資金のご支援、ボランティアの派遣、空間のご提供など、形はさまざま。

そのすべてが、地域の未来を照らす力になっています。

地域と企業をつなぐ、新たな挑戦：「床ワックス清掃事業」

私たちが新たにスタートした「床ワックス清掃事業」は、単なる清掃業務ではありません。

企業がこの清掃サービスを利用することで、その収益が子ども食堂の運営支援に活用される「地域コラボレーション型の支援モデル」です。

日常業務の中で、自然に地域を支える。

清掃の依頼が、ある日の子ども食堂のカレーライスになり、笑顔で走り回る子どもたちの安全な床をつくれます。

この取り組みは、単なる「清掃サービスの提供」にとどまりません。

これまで“作業”として捉えられてきた床清掃に、「社会的意義」という新たな価値を与え、地域社会と子どもたちを支える魅力的なコンテンツへと進化させる提案です。

清掃という仕事を通じて「支援」と「雇用」「地域貢献」を結びつける――

それは、これまでにない

地域密着×福祉×衛生＝**新しい社会貢献型ビジネス**

まったく新しい社会貢献のカタチです。

この事業が選ばれている理由：

✓ 日常的な業務を“社会貢献”に変える新しいモデル

床の美化や衛生管理という本来の目的に加え、支援活動にもつながるため、CSR や SDGs の実践として高く評価されています。

✓ 清掃の収益は、すべて地域の子ども支援活動へ還元

いただいた収益は、食材費・運営費・新規会場の立ち上げ費用などに活用されます。

✓ 清掃予算内で、ご納得いただけるご提案を実現します

本事業では、既存の清掃ご予算の範囲内で、質の高い作業と社会的意義を両立したご提案を行っております。

「子どもたちや地域の支援になるなら、ぜひお願いしたい」と、多くの企業様からご好評をいただいています。

✓ ワックス清掃だけでなく、エアコンや窓ガラスの清掃にも対応可能

ご希望に応じて、エアコン内部洗浄や高所の窓ガラス清掃などにも柔軟に対応いたします。定期清掃・スポット対応、どちらでもご相談可能です。

✓ 「子どもたちや地域の支援になるなら」と共感の声多数

特に、地域に根差して事業を展開する企業の皆さまからは、「日常の業務がそのまま社会貢献につながるのは意義深い」「社員にも誇りを持って取り組んでもらえる」といった声が寄せら

れています。売上や利益だけでは測れない、“地域とのつながり”を感じられる取り組みとして注目されています。

実際に、市内の高齢者介護施設・スーパーマーケット・建設不動産会社・サービス業など、さまざまな業種の企業がすでに参加し、地域に根ざした支援を形にしています。

「社員の意識が変わった」「地域から感謝された」という声も届いています。

今後はさらに、**多くの施設・店舗・事務所など「人が出入りし、地域に開かれた空間」での導入が広がることを期待**しています。

清潔で安心な空間づくりを通じて、企業や施設の信頼向上と地域貢献を同時に叶えるこの取り組みは、お客様やご利用者の目に触れる“見える支援”としても高く評価されています。

支援の“見える化”で想いを伝える仕組み

私たちは、支援が“実際にどう使われているのか”の「支援の見える化」を明確に伝える仕組みを整えています。

- ご依頼いただいた収益が**どの子ども食堂に活用されたか**をご報告
- 年に一度、写真入りの活動報告書を送付（食堂の様子や子どもたちの声を掲載）
- 協力企業シールやポスターなどを視認性の高い広報物を作成・提供
- 当ネットワークの公式 SNS・HP 等で企業支援事例としてご紹介（※掲載許可制）

この取り組みは、社員に誇れる社会貢献活動として、また社外や地域への信頼構築・ブランディングにもつながっています。

私たちの次のチャレンジ

今後、私たちは静岡市のすべての小学校区に子ども食堂を開設することを目指しています。そして子どもたちや保護者に、企業の思いやサポートの力を“見えるかたち”で伝え、地域に拡散することで「支援は特別なことではない」「地域と企業はともに未来を育てる存在」という新しい価値観・文化を育てていきたいと考えています。

「支援」と「仕事」を結び、「地域と会社」が共に育つ。

すでに多くの企業がこの取り組みに関心を寄せ、実際に当団体と共にさまざまな形で地域に携わる活動を始めています。

今後はさらに多くの企業の力が必要です。

これからの社会では、“地域との関わり方”が企業にも求められ、地域とのつながりが企業の信頼や発展にもつながる時代が来ています。

この取り組みは、静岡市の未来や発展そのものを支える大切な一歩です。
そして、それを共につくるのは、地域と共に歩む企業の皆さまです。

子どもたちの未来のために、今できること。

企業だからこそできる地域貢献があります。

清掃という日常業務を通じて、子どもたちの居場所と笑顔を支える。

それは、CSR や SDGs を超えた“地域との新しい関係”のはじまりです。

今、子どもたちの未来のために、貴社の力を貸していただけませんか。

私たちと一緒に、静岡にしかできない持続可能な支援のカタチをつくっていきましょう。

今できる、あなたの参加方法

- ご寄付やご協賛を通じて、食堂の運営を支える
社員のボランティア参加を通じて、地域貢献に参加する
- **床ワックス清掃事業をご依頼いただき、日常業務から支援の輪を広げる**
- 空きスペースのご提供で新たな子ども食堂「拠点創出」に協力

まずは、清掃のお見積りや事業説明だけでも大歓迎です。

「地域とつながる第一歩」を、私たちと一緒に始めてみませんか？